

20220427 初谷溪谷クマガイソウ観察ハイク 記録

- ・ 日時：2022年4月27日（水）9:30（妙見口駅集合）～15:50（妙見口駅到着） ・ 天候：曇り
- ・ コース：妙見口駅⇒初谷溪谷⇒クマガイソウ群生地⇒妙見山⇒大堂越⇒黒川駅⇒妙見口駅（10km）
- ・ 参加者：18名
- ・ 前日17時の気象庁天気予報では大阪午前50%で本来中止ではあったが、気象協会豊能町の1時間天気では9時以降雨なしの予報なので決行することとした。結果全く雨に遭わず、1時間天気確認の必要性を再認識。
- ・ 昨日は豊能町に暴風雨注意報が出ていたので、初谷川が増水して渡渉困難かと心配だったが、問題なかった。
- ・ 昨日の大風のおかげで、普段は高木の上の方で観察できないものが、地面に落ちていろいろ観察できた。
エノキの実のついた小枝やイヌザクラの花穂のついた小枝、オオツツラフジの葉、イタヤカエデの葉等々。
また、カヤランが、杉の枯れ枝とともにあるいは枝から剥がれてあちこちに多く落ちているのが見られた。
- ・ 大風の翌日は、普段見られないいろんなものが落ちていて観察に好都合というのも再認識。
- ・ クマガイソウはちょうど見頃で、他にいろんな草木も見られ観察ハイクが楽しめた。



初谷入口に向かう。雨は降っていません



対岸に咲いているのは？



雨上がりの気持ちのいい道です



オオキツネノカミソリを保護しています



恐竜のタマゴとキバ



初谷の希少植物を示す看板あり



クマガイソウ観察中



クマガイソウ生育状況



初谷川遡上、妙見山に向かいます



渡渉は何度もくりかえし



渡渉は合計13回



やっと妙見山境内へ



山頂休憩所（昼食）で集合写真



下山途中で見た樹です???



ブナ林を見て大堂越方面へ



大堂越の登り口に下りてきました



立派な台場クヌギです



駅前で解散、お疲れ様でした

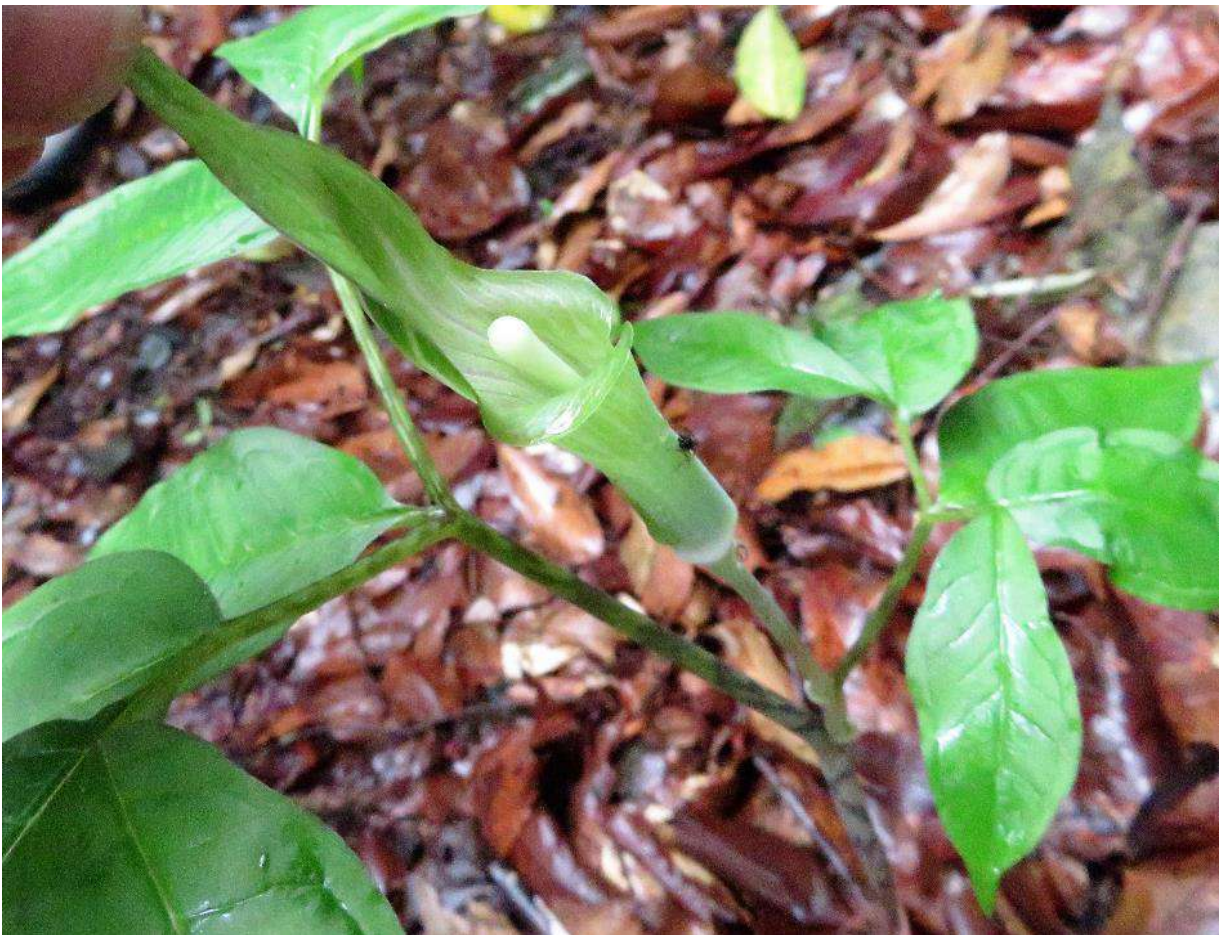


妙見山山頂、信徒会館「星嶺」北側の見晴らしのいい休憩広場（昼食場所）にて

背景は「星嶺」



サジオモダカ



コウライテンナンショウ…花序の付属体が棍棒状



ウラジロウツギ…花が下向き



ウラジロウツギ…葉裏が白い

果実が小さい



あの対岸の白い花は？…皆の疑問に答えるべくすばやく渡渉し取りに行って下さるナイトETさん



ヤブデマリでした…装飾花が5裂し、その1つが極端に小さい



間歩（坑道）入口に咲くハクサンハタザオ…重金属を吸収・蓄積 銀や銅鉱脈の目印となる



キシダムシグサ…花序の付属体が棍棒状で、褐色の斑点あり



キシダマムシグサ…仏炎苞は紫褐色、筋状模様



カマツカ



ヤマアカガエル



ヤマシャクヤク



クマガイソウ



クマガイソウ…ちょうど見頃



クマガイソウ群生…見事でした



オオツヅラフジ…五角形の葉 葉柄が長い

果実の中は焼きホタテ



ニッコウネコノメソウでは？…葯が赤い、対生



トチバニンジン…中心に花芽あり



ミヤマハコベ...そここにつつましやかに咲いていました



ゴマギ



ヤブデマリ…短枝につく葉は大小が対になる。葉柄のつく角度が大きい。



カヤラン…昨夜の大風のせいか、あちこちに落ちていました。



サワギク…在来種。花は外来種のナルトサワギクに似る。花期は6月～8月



ウリハダカエデ…雄花



カナクギノキ



キブシ雌花…柱頭が見える



ヒカゲノカズラ…あめのうずめの命が岩戸の前で踊るときに腰につけていたとか



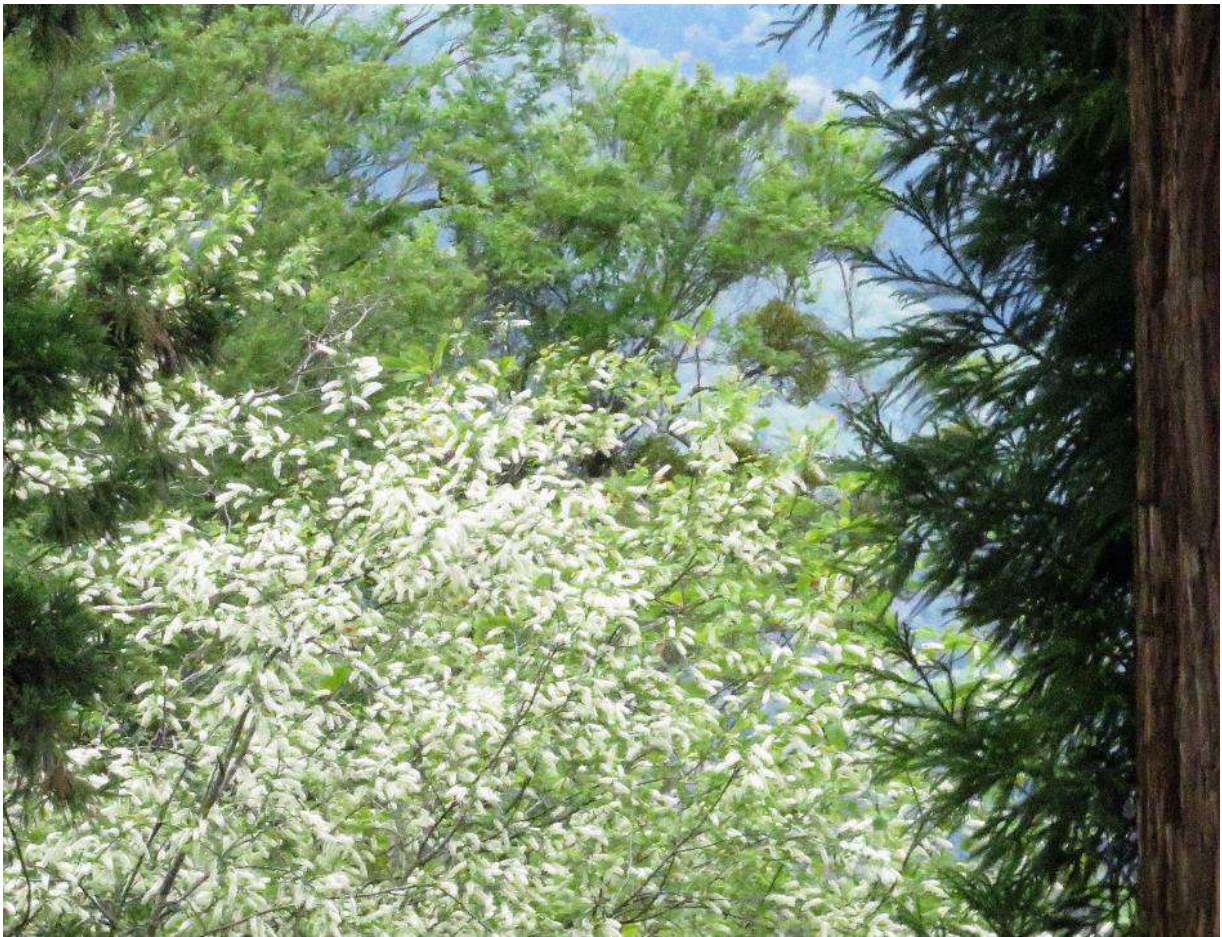
ツルカノコソウ…花後に送出枝（ランナー）を出し栄養繁殖する



ニシノオオタネツケバナ…頂小葉が大きく、頂小葉・側小葉ともに鋸歯がある



ウスノキ…萼筒に稜がある



ウワミズザクラ満開



ウワミズザクラ…花序の下部に葉がある ⇔ イヌザクラは花序に葉が無い



キラソウ



ミヤマキケマン…果実が数珠状にくびれる



ブナの幼果



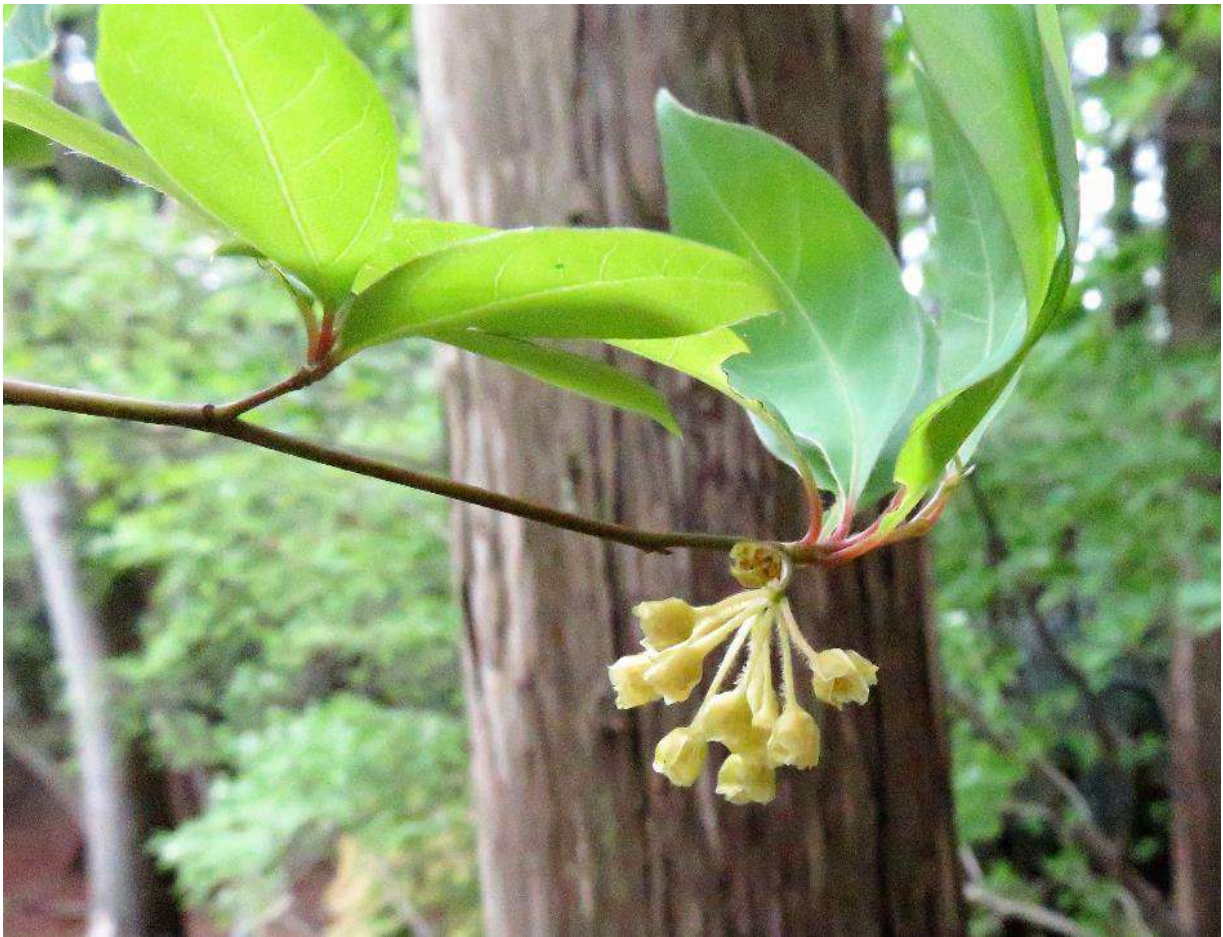
コハウチワカエデ雄花



ツタウルシ花芽



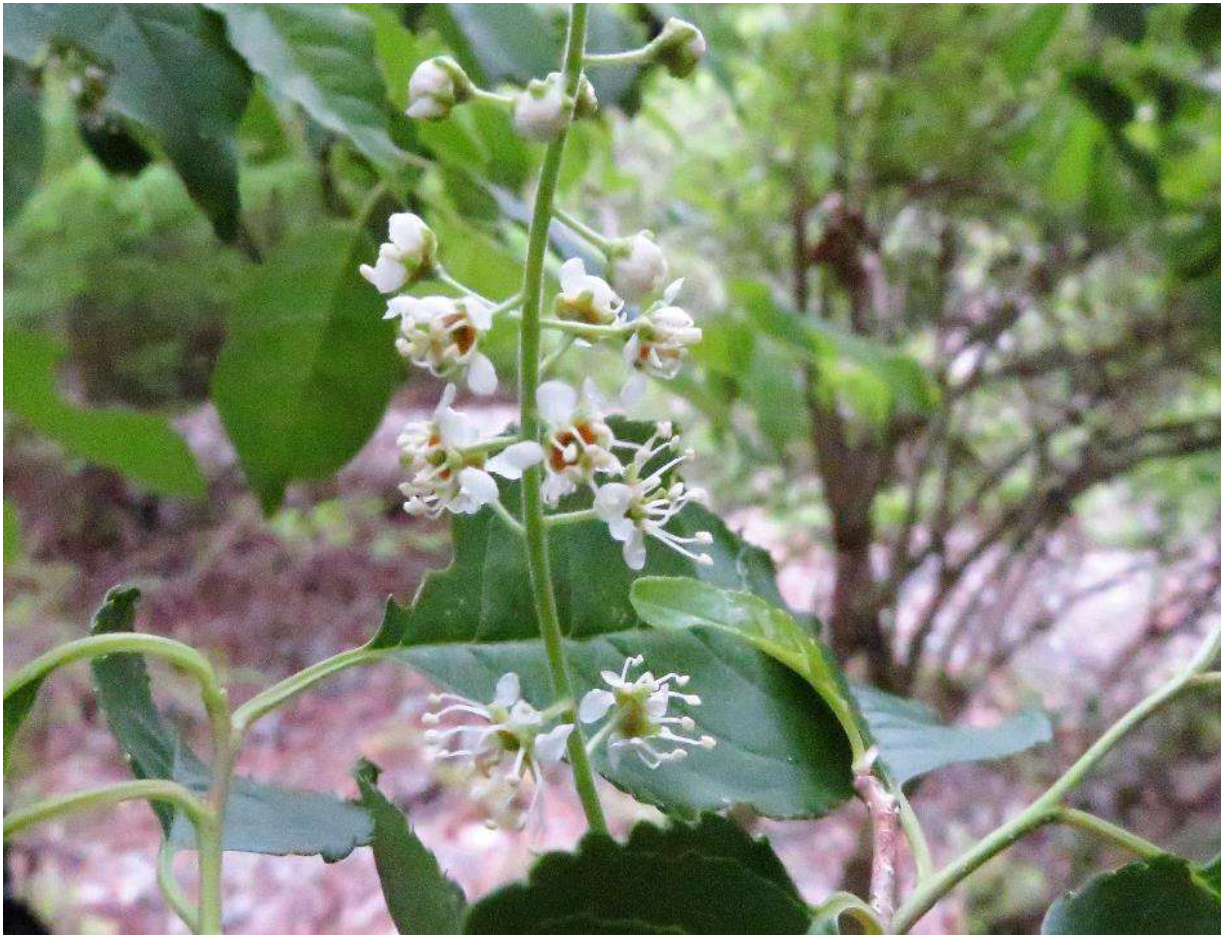
オオバノトンボソウ…結構たくさんの株がありました



クロモジ? カナクギノキ? 葉身基部の形からおそらくクロモジ



ヤブデマリ



イヌザクラ



ツリバナ

ME?



ナツグミ



ムベ



ヒメウス果実



オランダフウロ…萼の先に刺毛状突起あり

以上